



「目黒のさんま祭り」の第15回記念大会に参加しました。今回で4年連続の参加となります。12台ある焼き台のうちの4台を任せて頂き、朝9時半過ぎから午後2時半頃までの約5時間、炭火と煙に燻られながら、美味しいサンマを振る舞いました。

目黒のさんま祭り参加（9月5日）

早い人は朝4時頃から、2～3時間並ぶのも例年通り。不漁の噂も聞かれる中、今年も宮古市から約7,000匹のサンマが寄贈されました。ご覧の通り、脂ののった産地直送のサンマは、やはり天下一品です。今年も忘れられない味をプレゼントすることが出来ました。



サンマを網にのせて焼き始めてから5分程して、2枚の網で挟んでひっくり返します。その後、更に5分程焼いて、芯まで火を通せば、美味しいサンマの出来上がり。



今年は、交流がある『大井第一小学校』のおやじの会メンバーも参加して下さいました。また、地域協力活動を推進する『スターバックス』（目黒・五反田）のスタッフの方々も、おやじの焼き台と一緒に焼きました。彼らもこの熱さと煙、やみつきになることでしょう。三日野小の校長・副校長先生からは、アイスバーの差し入れを頂きました。ありがとうございました。



年々、増加するマスコミの取材にも、気持ちよくご協力させて頂きました。テレビ局や新聞社の記者、カメラマンの皆様、煙に巻かれながらの取材、お疲れ様でした。



約五時間後



《編集後記》

今年も無事に終わりました。開始前と終了後、笑顔は全く変わりません。すだち大使の皆様のお蔭かもしれません、達成感溢れるおやじたち、皆、いい顔をしています。今や全国的に知れ渡った地元のお祭り、参加人数も年々増えています。やはり、**さんまは目黒に限る！**（文責山田）